

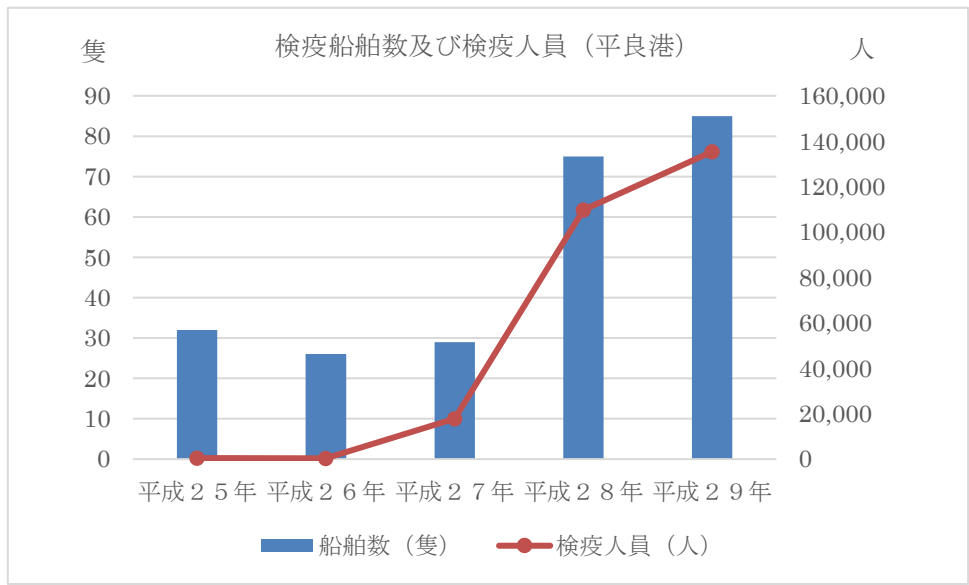
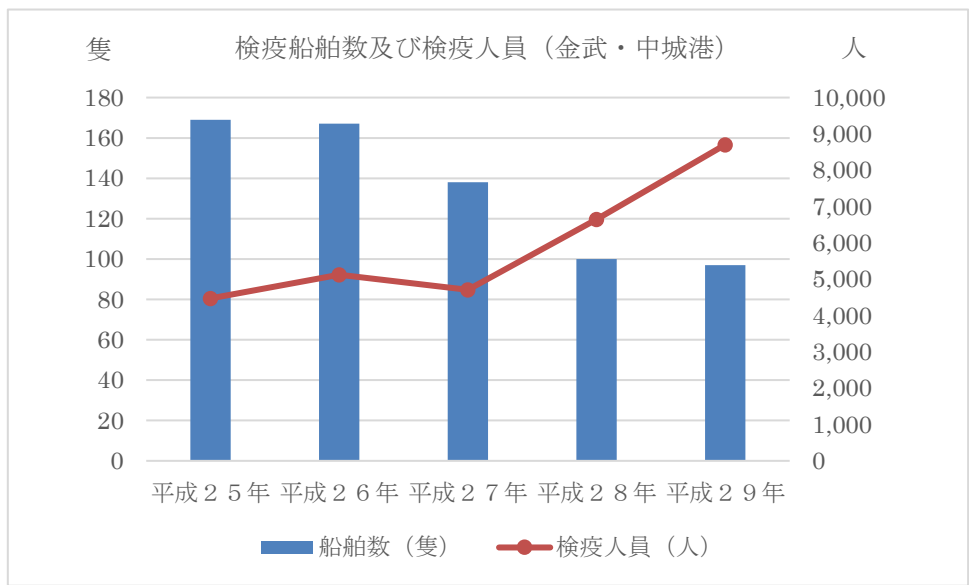
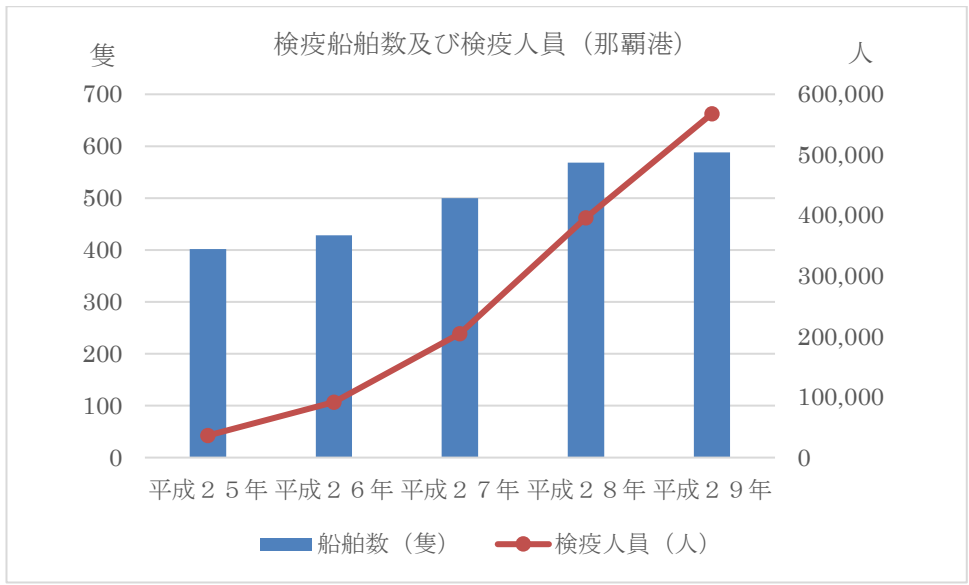
那覇検疫所 業務統計

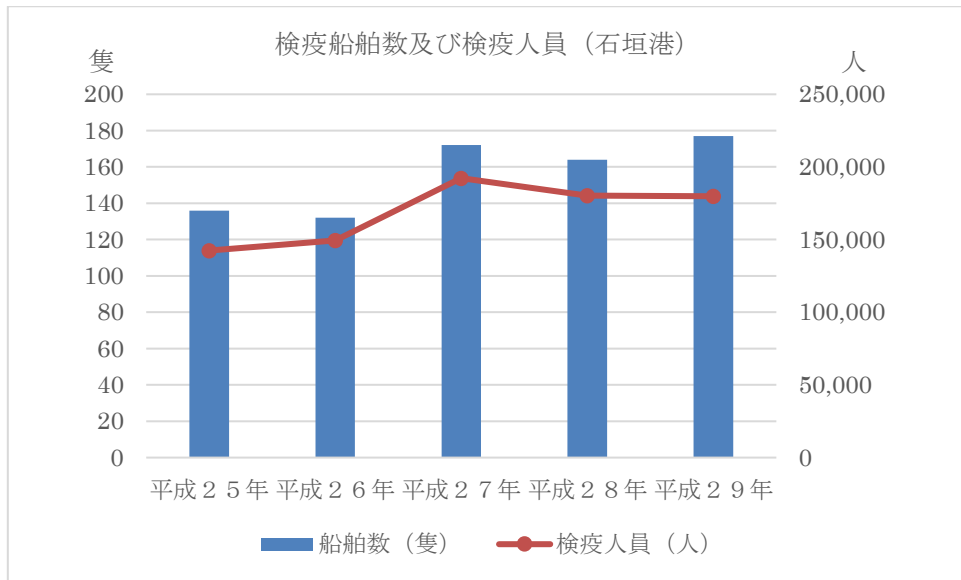
1. 検疫業務実績

(1) 船舶の検疫実施件数（平成 25 年～29 年）

検疫所名	年	船舶数(隻)	検疫人員(人)
那覇検疫所 (那覇港)	平成 25 年	402	36,441
	平成 26 年	428	91,425
	平成 27 年	500	204,547
	平成 28 年	568	396,127
	平成 29 年	588	567,988
金武・中城出張所 (金武・中城港)	平成 25 年	169	4,472
	平成 26 年	167	5,119
	平成 27 年	138	4,704
	平成 28 年	100	6,346
	平成 29 年	97	8,704
平良出張所 (平良港)	平成 25 年	32	486
	平成 26 年	26	335
	平成 27 年	29	17,746
	平成 28 年	75	109,752
	平成 29 年	84	133,255
石垣出張所 (石垣港)	平成 25 年	136	142,482
	平成 26 年	132	149,463
	平成 27 年	172	192,275
	平成 28 年	164	180,323
	平成 29 年	177	179,793

※石垣出張所（与那国港）：平成 26 年 検疫隻数 2 隻 検疫人員 9 人
 平成 28 年 検疫隻数 1 隻 検疫人員 4 人

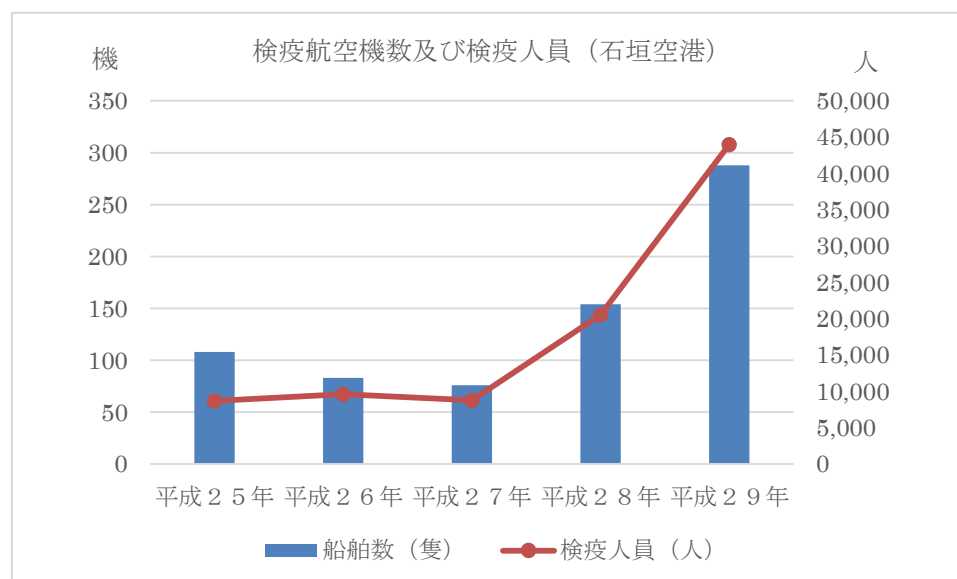
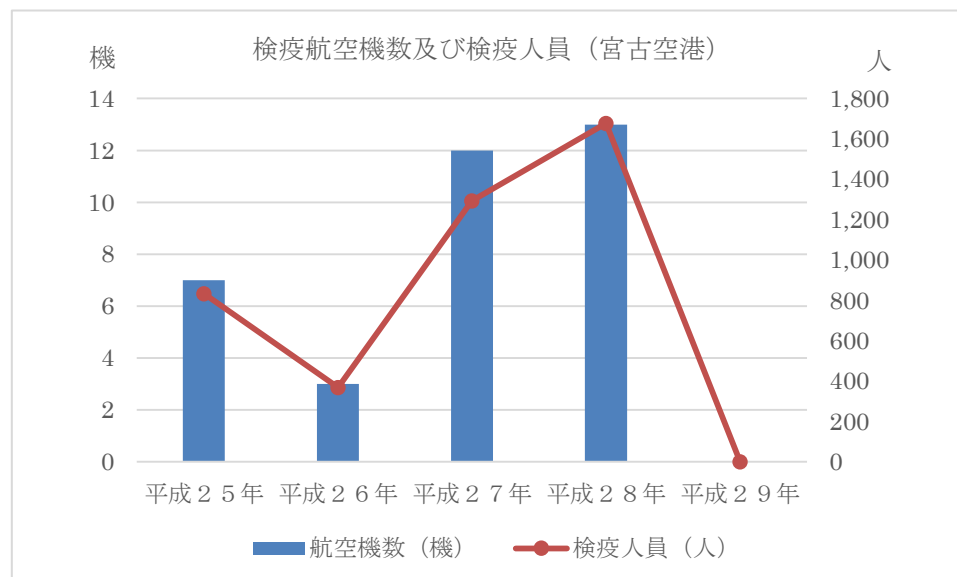
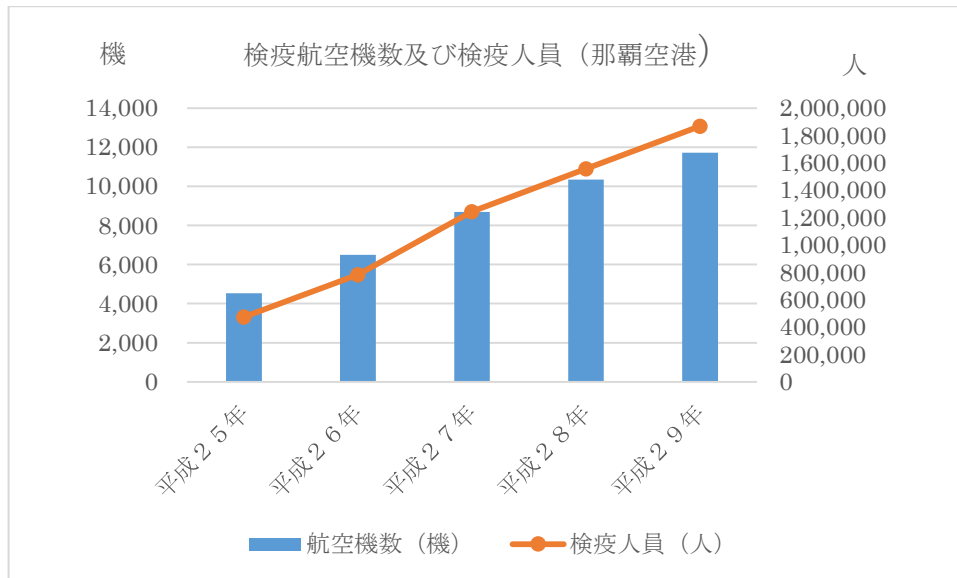


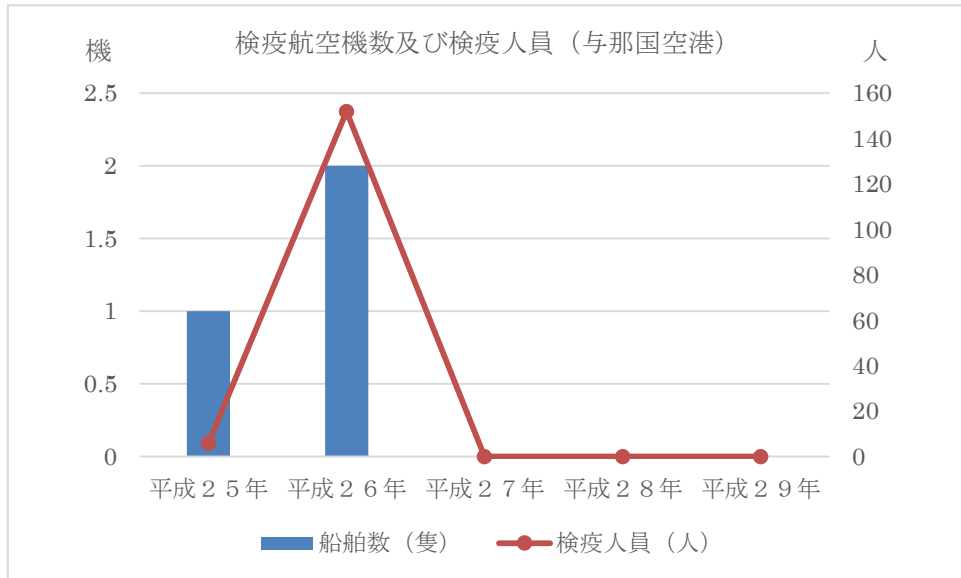


(2) 航空機の検査実施件数（平成25年～29年）

検査所名	年	航空機数(機)	検査人員(人)
那覇空港検査所支所 (那覇空港)	平成25年	4,539	474,816
	平成26年	6,494	782,994
	平成27年	8,694	1,243,395
	平成28年	10,353	1,557,702
	平成29年	11,717	1,869,514
平良出張所 (宮古空港)	平成25年	7	834
	平成26年	3	369
	平成27年	12	1,294
	平成28年	13	1,677
	平成29年	0	0
石垣出張所 (石垣空港)	平成25年	108	8,682
	平成26年	83	9,626
	平成27年	76	8,795
	平成28年	154	20,538
	平成29年	288	44,005
石垣出張所 (与那国空港)	平成25年	1	6
	平成26年	2	152
	平成27年	-	-
	平成28年	-	-
	平成29年	-	-

※平良出張所（下地島空港）：平成29年 検査機数 1機、検査人員 6名





(3) 予防接種実施件数（平成25年～29年）

検疫所名	年	コレラ	黄熱	急性灰 白髄炎	A型 肝炎	狂犬病	日本 脳炎	破傷風
那覇検疫所 (那覇港)	25年	-	201	-	-	-	-	-
	26年	-	312	-	-	-	-	-
	27年	-	90	-	-	-	-	-
	28年	-	124	-	-	-	-	-
	29年	-	138	-	-	-	-	-

※平成23年4月より黄熱のみ実施

※平成27年10月より実施場所を那覇空港検疫所支所に変更

2. 衛生業務実績

(1) 船舶に対する衛生検査実施件数（平成 25 年～29 年）

検疫所名	年	衛生検査船舶(隻)	証明書交付数
那覇検疫所 (那覇港)	平成 25 年	18	18
	平成 26 年	16	16
	平成 27 年	16	16
	平成 28 年	17	17
	平成 29 年	19	19
金武・中城出張所 (金武中城港)	平成 25 年	4	4
	平成 26 年	5	5
	平成 27 年	7	7
	平成 28 年	3	3
	平成 29 年	1	1
平良出張所 (平良港)	平成 25 年	-	-
	平成 26 年	-	-
	平成 27 年	-	-
	平成 28 年	-	-
	平成 29 年	-	-
石垣出張所 (石垣港)	平成 25 年	2	2
	平成 26 年	2	2
	平成 27 年	-	-
	平成 28 年	-	-
	平成 29 年	-	-

(2) 政令区域ねずみ族調査実施件数（平成25年～29年）

検疫所名	年	調査区数 (延)	捕そ器	ドブ ネズミ	クマ ネズミ	ハツカ ネズミ	計
那覇検疫所 (那覇港)	平成25年	10	200	2	-	-	2
	平成26年	10	200	2	1	-	3
	平成27年	10	200	-	-	-	0
	平成28年	10	200	-	3	1	4
	平成29年	10	200	4	2	-	6
金武・中城 出張所 (金武中城港)	平成25年	1	20	-	-	-	0
	平成26年	1	20	-	-	-	0
	平成27年	5	100	-	-	-	0
	平成28年	8	160	-	2	2	4
	平成29年	8	160	1	-	-	1
平良出張所 (平良港)	平成25年	-	-	-	-	-	-
	平成26年	-	-	-	-	-	-
	平成27年	-	-	-	-	-	-
	平成28年	1	20	-	-	1	1
	平成29年	2	40	-	-	-	0
那覇空港 検疫所支所 (那覇空港)	平成25年	5	100	-	-	3	3
	平成26年	10	200	1	1	24	26
	平成27年	15	300	1	4	33	38
	平成28年	15	300	1	4	20	25
	平成29年	16	320	1	2	25	28
石垣出張所 (石垣港)	平成25年	-	-	-	-	-	-
	平成26年	-	-	-	-	-	-
	平成27年	-	-	-	-	-	-
	平成28年	5	100	-	2	-	2
	平成29年	5	100	3	1	-	4

(3) 政令区域蚊族調査実施件数 (平成26年～29年)

検疫所名	年	調査区数 (延)	ヒトスジ シマカ	ネツタイ イエカ	コガタ アカイエカ	その他	計
那覇検疫所 (那覇港)	平成26年	25	7	6	-	-	13
	平成27年	20	1	-	-	-	1
	平成28年	20	-	1	-	-	1
	平成29年	20	29	8	-	4	41
金武・中城 出張所 (金武中城港)	平成26年	1	-	1	-	-	1
	平成27年	5	1	-	-	-	1
	平成28年	8	1	1	-	-	2
	平成29年	8	4	4	-	-	8
平良出張所 (平良港)	平成26年	1	1	-	-	-	1
	平成27年	1	-	-	-	-	-
	平成28年	-	-	-	-	-	-
	平成29年	4	6	-	-	1	7
那覇空港 検疫所支所 (那覇空港)	平成26年	72	10	3	-	3	16
	平成27年	31	8	-	-	-	8
	平成28年	18	3	3	-	1	7
	平成29年	15	5	2	-	2	9
石垣出張所 (石垣港)	平成26年	13	7	5	-	1	13
	平成27年	24	13	5	-	-	18
	平成28年	24	8	-	-	-	8
	平成29年	24	10	-	-	-	10

※平成25年は集計方法が異なることから非掲載

3. 輸入食品監視業務実績 (本所分)

表1 年次別の届出・検査・違反状況 (港)

	那覇検疫所							全国	
	届出 件数	対前 年比	輸入 重量	検査 総数	割合	違反 件数	割合	届出 件数	輸入 重量
	件	%	トン	件	%	件	%	件	トン
昭和 57 年 (1982)	7,372		86,278	1,136	15.4	45	0.6	319,617	21,484,462
昭和 60 年 (1985)	7,317		84,415	869	11.9	28	0.4	384,728	22,664,577
平成元年 (1989)	9,532		103,512	1,776	18.6	49	0.5	682,182	21,865,524
10 (1998)	8,204	97.3	97,026	1,319	16.1	9	0.1	1,276,994	29,150,188
11 (1999)	8,643	105.4	89,319	1,545	17.9	23	0.3	1,404,110	28,928,051
12 (2000)	8,946	103.5	97,111	1,685	18.8	30	0.3	1,550,925	30,033,822
13 (2001)	9,326	104.2	99,757	1,473	15.8	27	0.3	1,607,011	32,507,833
14 (2002)	9,076	97.3	105,698	1,405	15.5	16	0.2	1,618,880	33,201,949
15 (2003)	10,286	113.3	134,650	1,314	12.8	16	0.2	1,683,176	34,162,328
16 (2004)	10,863	105.6	131,404	1,466	13.5	21	0.2	1,791,224	34,270,198
17 (2005)	10,438	96.1	127,415	1,661	15.9	27	0.3	1,864,412	33,781,652
18 (2006)	10,304	98.7	114,620	1,992	19.3	17	0.2	1,859,281	34,095,810
19 (2007)	9,416	91.4	105,765	1,966	20.9	15	0.2	1,821,172	32,358,263
20 (2008)	8,326	88.4	96,654	1,898	22.8	16	0.2	1,759,123	31,551,097
21 (2009)	8,533	102.5	107,780	1,947	22.8	21	0.2	1,821,269	30,604,854
22 (2010)	8,773	102.8	122,517	1,689	19.3	9	0.1	2,001,020	31,801,900
23 (2011)	9,317	106.2	147,538	1,722	18.5	20	0.2	2,096,127	33,407,240
24 (2012)	9,082	97.5	133,174	1,873	20.6	6	0.1	2,181,495	32,155,854
25 (2013)	8,947	98.5	138,830	1,796	20.1	8	0.1	2,185,480	30,982,370
26 (2014)	9,150	102.3	178,725	2,006	21.9	13	0.1	2,216,012	32,411,715
27 (2015)	8,754	95.6	153,175	1,617	18.5	7	0.1	2,255,019	31,900,083

28 (2016)	5,571	97.7	142,748	1,547	18.0	6	0.1	2,338,765	32,302,113
--------------	-------	------	---------	-------	------	---	-----	-----------	------------

② 食品衛生法違反事例（表2）

那覇検疫所における届出件数に対する違反割合は、0.07%で全国のそれより高い割合となっている。

違反件数6件を条文別にみると、法第6条違反が2件、11条違反が4件であった。

表2 平成28年度 食品衛生法違反事例

条文	品名	輸出国	検査項目	検出値	備考
6	大粒落花生	中国	アフラトキシン	11 μ g/kg	命令検査
6	小麦	米国	カビの発生および異臭	—	行政検査
11	冷凍ゆでたこ	インドネシア	大腸菌群	陽性	自主検査
11	冷凍食品パパイヤ千切り	ベトナム	遺伝子組換え	PRSV-HN 陽性	自主検査
11	粉末清涼飲料水	台湾	大腸菌群	陽性	自主検査
11	ビスケット	ベトナム	T B H Q	1 μ g/kg	自主検査

③ 品目別の届出状況（表3、図2）

品目別輸入届出件数をみると、器具の1,614件が最も多く、次いでその他の食品の1,329件、農産加工食品の1,264件、農産食品の938件、畜産食品の832件であった。

表3 平成28年度 品目別輸入届出及び輸入重量

品目分類名	届出件数	構成比	届出重量（トン）	構成比
A 畜産食品	832	9.7%	11,996	8.4%
B 畜産加工食品	681	7.9%	10,076	7.1%
C 水産食品	104	1.2%	387	0.3%
D 水産加工食品	450	5.3%	3,302	2.3%
E 農産食品	938	10.9%	88,601	62.0%
F 農産加工食品	1,264	14.8%	11,029	7.7%
G その他の食料品	1,329	15.6%	5,057	3.5%
H 飲料	698	8.1%	7,791	5.5%
I 食品添加物	36	0.4%	35	0.0%
J 器具	1,614	18.8%	2,419	1.7%
K 容器包装	479	5.6%	1,943	1.4%
L おもちゃ	146	1.7%	112	0.1%

④ 生産・製造国別届出状況（表4、図3）

国（地域を含む。）別の届出件数をみると、平成28年度は、51カ国から輸入があり、中国が1,615件で最も多く、次いで米国の1,512件、台湾の812件、ベトナムの698件、フィリピンの532件であった。

那覇では米国からの届出が今まで多いのが特徴であったが、平成28年度は、他港と同じように中国からの届出が多くなった。

表4 平成28年度 生産・製造国別輸入届出件数及び輸入重量

順位	国名	届出件数	構成比	届出重量 (トン)	構成比
1	中国	1,615	18.8%	10,796	9.5%
2	米国	1,512	17.6%	32,968	23.1%
3	台湾	812	9.5%	3,077	2.2%
4	ベトナム	698	8.1%	1,463	1.0%
5	フィリピン	532	6.2%	8,839	6.2%
6	タイ	477	5.6%	42,486	29.8%
7	韓国	473	5.5%	6,495	4.6%
8	デンマーク	457	5.3%	7,002	4.9%
9	ベルギー	365	4.3%	69	0.0%
10	ニュージーランド	253	3.0%	2,085	1.5%
11	その他	1,377	16.1%	27,468	19.2%

⑤ 平成28年度モニタリング検査実施状況（表5）

平成28年度のモニタリング計画数95,929件中、那覇検疫所における28年度のモニタリング検査計画分の1,259件（1,059件+強化分）に対して、1,285件を実施した。

表5 平成28年度 モニタリング検査実施状況（那覇検疫所・那覇空港支所分）

品目分類名	抗生物質	残留農薬	添加物	成分規格		病原微生物	カビ毒	遺伝子組替え	放射線
				成分規格	放射性物質				
畜産食品	64	46	0	0	5	13	0	0	0
畜産加工食品	48	30	28	44	0	16	0	0	0
水産食品	22	24	3	4	0	5	0	0	0
水産加工食品	32	33	30	1	0	8	0	0	0
農産食品	96	159	8	4	0	8	18	6	3
農産加工食品	0	102	102	40	3	10	35	7	4
その他の食料品	0	17	73	1	0	0	10	0	0
飲料	0	3	70	32	0	0	0	0	0
添加物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具	0	0	0	11	0	0	0	0	0
容器包装	0	0	0	7	0	0	0	0	0
おもちゃ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	262	414	314	144	8	60	63	13	7
総計	1,285								

⑥ 平成28年度命令検査実施状況（表6）

全輸出国対象の17品目及び31カ国・1地域対象の69品目（平成28年4月1日現在）の命令検査の対象品目中、那覇検疫所においては全輸出国対象で10品目、4ヶ国対象品目で11品目の122件の命令検査を実施し、このうち1件を法違反として措置した。

表6 平成28年度検査命令実施状況

対象国・地域	対象品目	検査項目	検査件数	違反件数
全輸出国	落花生、落花生加工品等、農産加工品※1	アフラトキシン	92	1
中国	冷凍食品ウナギ蒲焼き	オキソリニック酸	2	0
	生鮮タマネギ	チアメトキサム	86	0
	ほうれん草	アルドリン	12	0
		エンドリン	12	0
		ディルドリン	12	0
	ウーロン茶	フィプロニル	1	0
	ミカン缶詰	サイクラミン酸	3	0
梅干し加工品	サイクラミン酸	1	0	
台湾	発酵茶※2	アフラトキシン	2	0
米国	生鮮セロリ	ビフェントリン	1	0
	ポップコーン（爆裂種）	アフラトキシン	6	0
ベトナム	冷凍食品えび（未加熱）	エンロフロキサシン	5	0
		クロラムフェニコール	1	0
		スルファジアジン	2	0
		フラゾリドン	5	0
	冷凍いか（むき身）	クロラムフェニコール	1	0
合 計（検査項目別延べ件数）			244	1
（届出件数）			（122）	（1）

※1 農産加工品：ハトムギを10%以上含んだもの

※2 台湾産発酵茶：インド産ケツメイシを50%以上含んだもの

⑦ 平成28年度輸入相談室における輸入相談業務実施状況

平成28年度の輸入食品相談指導室における輸入相談件数は302件あり、品目別に527件の輸入相談を実施し、このうち事前に法に適合しないことが判明した事例は16件であった。(表7、表8)

相談品について品目別にみると、その他の食料品(Gコード)、農産加工食品(Fコード)、飲料(Hコード)が大半を占めていた。(表9)

輸出国(地域を含む)別では、アジア州(台湾、中国、タイ等)が主で、相談品目件数の約6割を占めていた。(表10)

違反貨物を条文別にみると、11条違反が16件となっている。

国別にみると、トルコの8件、台湾の5件、タイの2件、米国の1件となっており、加工品での添加物の使用基準違反が主であった。(表8)

表7 輸入食品相談指導室における輸入相談実績

	平成28年度
輸入相談実施件数	302
品目別輸入相談件数	527
品目別違反該当件数	16

表8 平成28年度輸入相談における条文別違反該当件数

条文	違反該当件数 (件)	構成比 (%)	主な違反内容
第6条	0	—	
第9条	0	—	
第10条	0	—	
第11条	16	100.0	添加物の使用基準違反 ・対象外食品への使用(ソルビン酸カリウム)……カレーの素(2種類)、ソース(4種類)、清涼飲料水(4種類) ・安息香酸の過量使用……ソース、ペースト、 冷凍食品タピオカパール、グミ
第18条	0	—	
計	16(延数) 16(実数)		

表9 平成28年度品目別輸入相談件数

大分類	件数
A：畜産食品	0
B：畜産加工食品	15
C：水産食品	3
D：水産加工食品	45
E：農産食品	3
F：農産加工食品	129
G：その他の食料品	172
H：飲料	104
I：食品添加物	1
J：器具	54
K：容器包装	0
L：おもちゃ	1
合計	527

表10 平成28年度国別輸入相談件数

生産国	件数
台湾	116
アメリカ合衆国	70
中国	51
イタリア	43
タイ	36
ルーマニア	28
ベトナム	25
シンガポール	23
モルドバ共和国	19
フィリピン	16
フランス	15
インドネシア	13
スリランカ	13
ドイツ	13
マレーシア	12
イギリス	11
ギリシャ	7
ブラジル	3
メキシコ	3
ペルー	2
韓国	2
オーストラリア	1
オランダ	1
ジャマイカ	1
スウェーデン	1
スペイン	1
ナイジェリア	1
合計	527

図1 年次別輸入・届出数量の推移

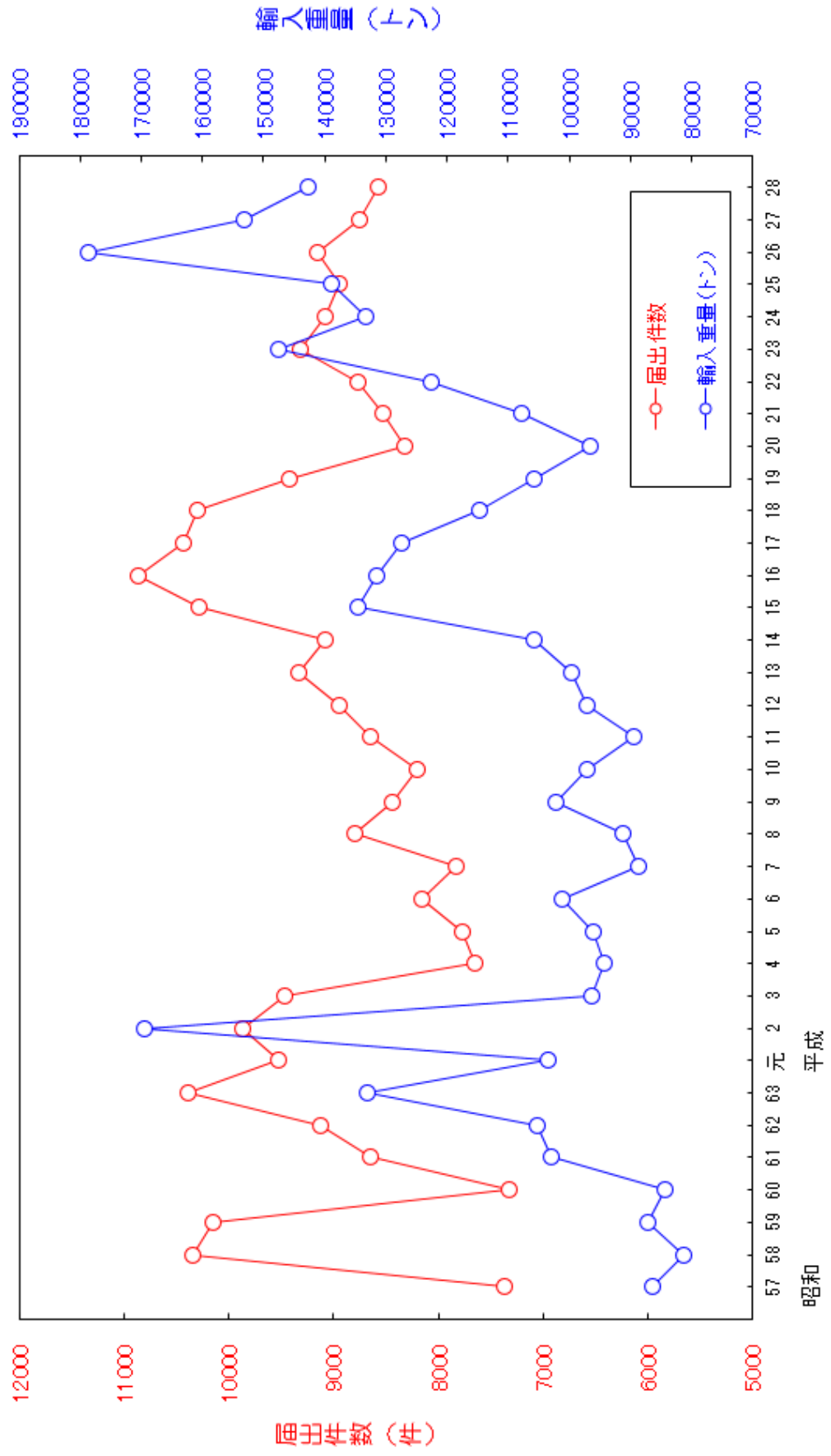


図2 品目別届出状況

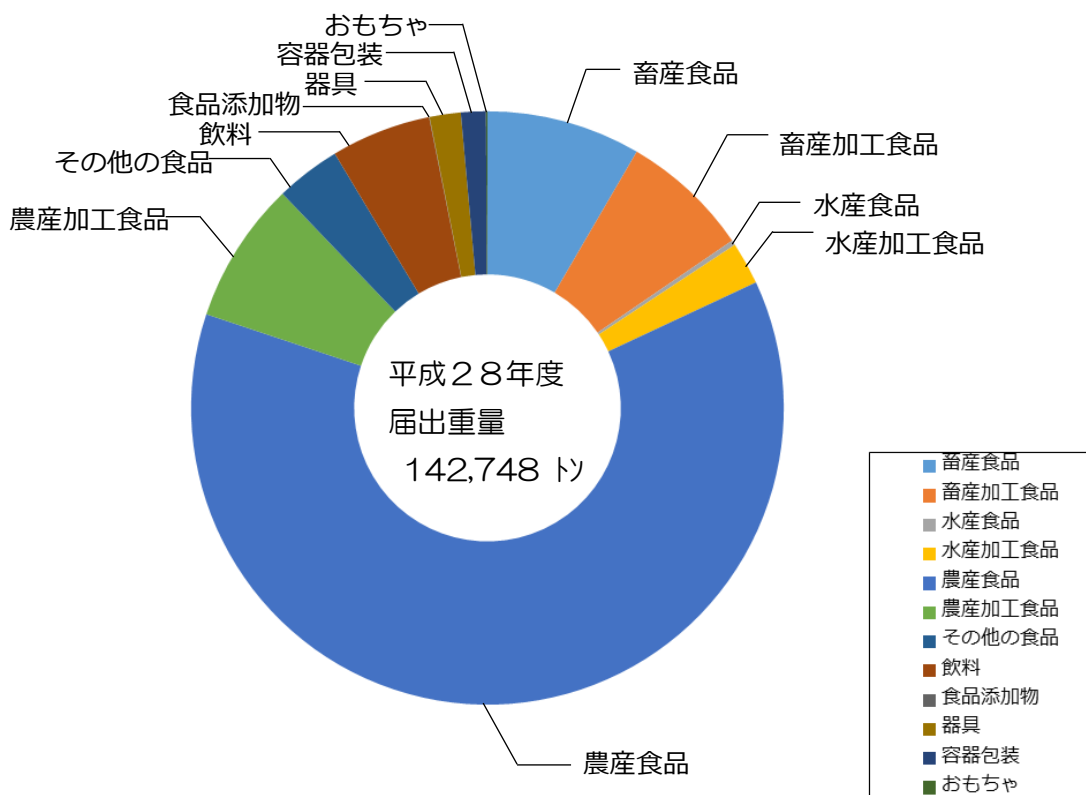
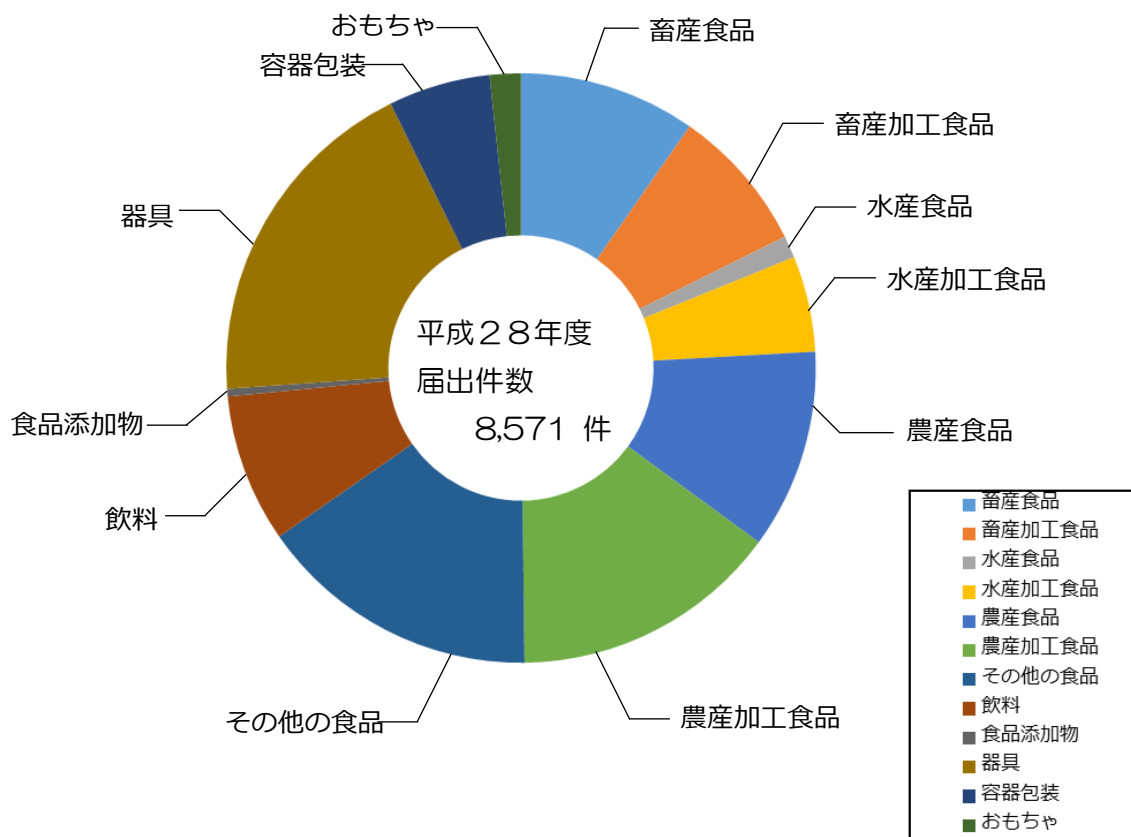
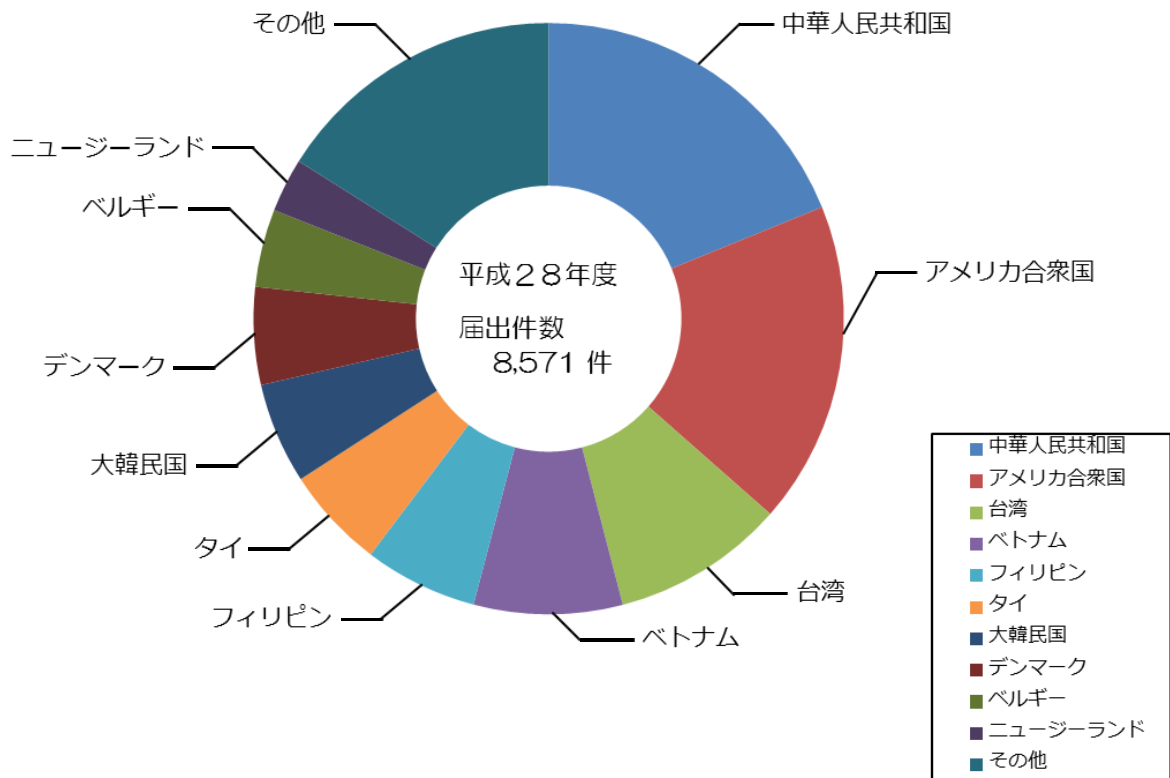


図3 生産・製造国別届出状況



4. 輸入食品監視業務実績 (空港支所分)

① 年度別の届出・検査・違反状況 (表1)

那覇空港検疫所支所における食品等の届出件数は687件であり、届出重量は29トンであった。これは前年と比較して件数で121%の増加、重量で170%の増加を示している。

検査は届出件数の15.1%にあたる104件について実施されている。

このうち1件が法違反として積戻し又は廃棄の措置がとられたが、これは届出件数の0.1%に相当する。

表1 年度別の届出・検査・違反状況（空港）

	届出件数	対前年比	輸入重量	検査総数	割合	違反件数	割合
	件	%	トン	件	%	件	%
23	350	87.1	69	66	18.9	0	0.0
(2011)							
24	372	106.3	87	75	20.2	1	0.3
(2012)							
25	290	78.0	64	46	15.9	1	0.3
(2013)							
26	394	135.9	70	70	17.8	2	0.5
(2014)							
27	567	143.9	175	62	10.9	2	0.4
(2015)							
28	687	121.2	298	104	15.1	1	0.1
(2016)							

② 食品衛生法違反事例（表2）

那覇検疫所における届出件数に対する違反割合は、0.1%となっている。

表2 平成28年度 食品衛生法違反事例

条文	品名	輸出国	検査項目	検出値	備考
11	海ぶどう	インドネシア	腐敗、変敗及び異臭を認めた。	—	行政検査

③ 品目別の届出状況（表3）

品目別輸入届出件数をみると、水産食品の 434 件が最も多く、次いで水産加工品の 109 件、その他の食料品の 45 件、飲料の 30 件であった。

表 3 平成 28 年度 品目別輸入届出及び輸入重量

品目分類名	届出件数	構成比	届出重量 (トン)	構成比
A 畜産食品	1	0.15%	0.66	0.22%
B 畜産加工食品	3	0.44%	2.96	0.99%
C 水産食品	434	63.17%	232.57	78.06%
D 水産加工食品	109	15.87%	39.68	13.32%
E 農産食品	6	0.87%	5.63	1.89%
F 農産加工食品	27	3.93%	7.7	2.58%
G その他の食料品	45	6.55%	4.14	1.39%
H 飲料	30	4.37%	1.77	0.59%
I 食品添加物	1	0.15%	0.08	0.03%
J 器具	25	3.64%	1.57	0.53%
K 容器包装	6	0.87%	1.16	0.39%
L おもちゃ	0	0.00%	0	0.00%

④ 生産・製造国別届出状況（表 4）

国（地域を含む。）別の届出件数を見るとノルウェーの 291 件で最も多く、次いで、ベトナムが 136 件、米国が 25 件であった。

表 4 平成 28 年度 生産・製造国別輸入届出件数及び輸入重量

順位	国名	届出件数	構成比	届出重量 (トン)	構成比
1	ノルウェー	291	42.36%	213.43	71.64%
2	ベトナム	234	34.06%	55.03	18.47%
3	米国	25	3.64%	5.07	1.70%
4	イギリス	20	2.91%	4.87	1.63%
5	フィリピン	17	2.47%	3.87	1.30%
6	その他	100	14.56%	15.63587	5.25%

計画輸入重量含まず